

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲

2017
1月
No.32



兵庫県立尼崎総合医療センター

だより

【巻 頭】

病院長
新年のご挨拶



【診療科紹介】小児救急集中治療科／漢方内科

- 『認知症サポーター養成講座』を開催。私たち、認知症サポーターになりました！
- 第15回大阪千里メディカルラリーに出場してきました！
- ぶらり〜っと病院探訪 ●新企画のご案内！

病院長

新年のご挨拶

賀正



兵庫県立尼崎総合医療センター 病院長 藤原 久義

開院一年半が経ちました。
いよいよこれからです。
ご来院、ご紹介をお待ちしています。

兵庫県立尼崎病院と県立塚口病院との統合病院「兵庫県立尼崎総合医療センター（AGMC）」は、2015年7月1日開院から一年半、経ちました。幸い、多くの紹介患者さん、救急患者さんにご利用いただき、ありがとうございます。

第二期工事終了 本年4月から駐車場の増設・病児保育の開始

これまで、少ない駐車場でご迷惑をお掛けしていましたが、第二期工事（立体駐車場と保育所の新設）終了に伴い、4月から駐車台数が現在の398台から約610台と大幅に増大します。便利になりますので、ご利用ください。現在は仮設の保育所を使用していますが、4月から新保育所で病児保育もスタートします。

〈目指すこと〉

地域完結型医療のモデルケース ― 役割分担と連携を徹底、
阪神地域の高度急性期・高度専門・先端医療を担う！ ―

新病院は、730床、常勤的医師数約320名（研修医24名／年）、正規看護師数約1100名、職員数計約2000名という大きな病院です。尼崎市のみならず、人口約175万の阪神南・北地域全体を対象にした大規模なER型救命救急センターやCCU・ICU等の重症系病床145床、総合周産期母子医療センター、循環器センター等6つのセンター、ハイブリット手術室やロボット手術室を含む19手術室、最新鋭のがん診断（PET・CT）・治療設備（IMRT2台）、30床の外來化学療法室、臨床研究センター等をフル稼働させる時期になりました。超高齢化社会を迎え、いわゆる「2025年問題」に対応するため、これまでの病院完結型医療から阪神南・北地域完結型医療・介護へという国の医療計画「地域包括ケアシステム」＆「地域医療構想」がスタートしました。我々の役割は高度急性期・高度専門・先端医療を担い、構想全体と協調して、他の医療機関・行政・介護と連携することです。統合病院に対する皆さんの期待に応え、断らない医療＆納得・安全医療をモットーに、工夫・改善してまいりますので、一層のご支援、ご鞭撻、ご協力をお願い致します。また、苦情にも積極的に対応させていただきます。お気付きのことは意見箱等をご利用して遠慮なくお知らせください。

平成二十九年一月一日

兵庫県立尼崎総合医療センター 病院長 藤原 久義



小児救急 集中 治療科

プレホスピタルから集中治療まで、 シームレスに小児救急医療を提供

小児救急集中治療科のご紹介

救急診療

小児科、各診療科と連携して重症小児患者に対応しています。総合病院ならではの幅広い対応能力が特長です。

PICU (小児集中治療室)

closed ICUシステムにより、迅速な診断と処置を実現しています。あらゆる疾患に対応可能です。

ドクターカー

小児で独自の基準を設け、毎日(9時～21時)、小児を専門とする医師が出動する体制をとっています。小児に対する出動数は、全国トップレベルです。



前列左から：豊田医師、田中医師、金医師、河内医師

漢方内科

伝統的な東洋医学理論に基づき、 様々な疾患への治療を提供

当科は、全国的にも数少ない国公立病院の漢方専門科です。診療科も年齢も問わず、多くの疾患に対し、漢方薬がもつ三つの力「病み疲れた身体を元気にさせる力」、「身体のなかの余分なものを追い出してすっきりさせる力」、「身体の代謝全般を整える力」によって、体調全般を改善し、一人ひとりの様々な症状に対してきめ細かく対応していきます。

漢方内科科長

武原 弘典

日本東洋医学会専門医
日本精神神経学会専門医
精神保健指定医



小児救急集中治療科は、救命救急センターにおける重症小児患者の救急診療とPICU(小児集中治療室)における集中治療管理を担当しています。また、ドクターカーを用いて、いち早く重症小児患者のもとに駆けつけ、重症患者の予後の向上にも取り組んでいます。



小児救急集中治療科科长

菅 健敬

日本小児科学会 小児科専門医
日本救急医学会 救急科専門医
日本集中治療医学会 集中治療専門医
厚生労働省 麻酔科標榜医
日本DMAT隊員・統括DMAT



後列左から：山上医師、加藤医師、菅医師、高原医師



左から：廣野医師、武原医師

漢方内科のご紹介

当科は、全国的にも数少ない国公立病院の漢方専門科です。診療科も年齢も問わず、多くの疾患に対し、漢方薬がもつ三つの力「病み疲れた身体を元気にさせる力」、「身体のなかの余分なものを追い出してすっきりさせる力」、「身体の代謝全般を整える力」によって、体調全般を改善し、一人ひとりの様々な症状に対してきめ細かく対応していきます。

漢方内科の特徴

- **高い専門性と熟練を要する煎じ薬による漢方治療**
もちろんエキス剤(粉薬)による治療も行っています。
- **西洋医学と補完しあう漢方治療**
当科の治療との併用にて、病状が改善しておられる方が多数おられます。

対象とする疾患

関節リウマチ・SLE(全身性エリテマトーデス)などの膠原病、気管支喘息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)などの慢性呼吸器疾患、慢性腎炎から腎不全の初期、過敏性腸症候群などの消化器疾患、子宮筋腫や内膜症・月経関連などの婦人科疾患、整形外科疾患一般、アトピー性皮膚炎・貨幣状湿疹など皮膚疾患、副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎・花粉症など耳鼻科疾患、間質性膀胱炎など慢性尿路感染症、がんの緩和ケアなど

『認知症サポーター養成講座』を開催

私たち、認知症サポーター になりました！



現在、認知症サポーターキャラバンが、全国で展開されています。

その活動の一つが、住民の方に認知症を理解していただき、認知症の方を地域で見守る“認知症サポーター”の増員です。

県立尼崎総合医療センター（AGMC）では、先日、尼崎市包括支援担当課 認知症・介護予防担当 保健師のジョン千佳子さんを講師としてお招きし、AGMC職員を対象に『認知症サポーター養成講座』を開催しました。

参加者は、49名。医師・看護師・事務職員・MSW・薬剤師・検査技師・理学療法士など、職種は様々です。

AGMCスタッフへの認知症啓発と意識改革を通じて、認知症患者さんの立場にからの医療提供ができればと考えています。

これからも定期的な『認知症サポーター養成講座』を開催し、AGMC内にオレンジリング（※）を身に付けた“認知症サポーター”職員を一人でも増やしていきたいと思います。

※オレンジリングは、『認知症サポーター養成講座』にて認知症に関する講習を受けた証です。



第15回 Aクラス入りを果たす 大阪千里メディカルラリーに 出場してきました！



小児救急集中治療科 山上 雄司

去る2016年10月15日、県立尼崎総合医療センター代表として第15回大阪千里メディカルラリーに出場してきました。メディカルラリーとは、「医療チームが、シナリオに沿って模擬患者を診察し、限られた時間内にどれくらい的確に診断と治療を実施することができるかを競う技能コンテストのこと（千里救命救急センターHPより引用、一部改変）」です。

本大会は医師、看護師、救急救命士各2名がチームを組み、新大阪駅周辺の建物や公園、駅地下空間などを利用したシナリオステーションを回り、ミッションをこなすという大規模なものでした。連日仕事終わりの休日を返上し練習を重ねた成果もあり、全国の救命センターの強者が集まる歴史、規模、レベルともに



国内最高峰の本大会で、初出場にして22チーム中10位と、目標としていたAクラス入りを果たすことができました。

今後も救急医を中心にこうした大会への出場を重ねることで、病院全体の診療技術の向上につなげていきたいと考えています。



左から：救命士 豊見山、看護師 木之下、看護師 山本、医師 山上
医師 恒光、救命士 高浪

ぶらり〜と 病院探訪

外来レストラン
兼 職員食堂 「遊仙」お腹空いたかな？
診療の待ち時間に、
ちょっと足を
運んでください。

「腹」 が減っては…」ではありませんが、昼時にはお腹が空いて行きたくなる職員食堂 兼 外来レストラン「遊仙」さんにお話を伺いたと思います。なんといっても一番人気は、平日限定のワンプレートバイキングです。ご飯は「白いご飯」と「変わりご飯」の2種類あり、おかずは「焼き物」「揚げ物」「煮物」「サラダ」「デザート」等をバランスよくいただくことが可能で、ついつい食べ過ぎになってしまいます。時間がないときは「お弁当」をテイクアウトすることもでき、大変便利です。夕食も充実しているので、職員のみなさんは当直時等に、お世話になってみてはいかがでしょうか。今後、新メニューなどの要望についても検討してくださるとのことです。

主に患者さん向けの外来レストランは、和食を中心としており、「天婦羅御膳」や「カキフライ御膳」「うなぎ丼」などの季節メニューが人気だそうです。「ケーキセット」「パンケーキセット」などもあり喫茶としても利用できるとのことです。当院にお越しの際には、是非立ち寄ってみてください。



胃袋の友



● 外来レストラン 営業時間

(月～金)9:00～19:00 (ラストオーダー18:30)

(土日祝)9:00～18:00 (ラストオーダー17:00)

新企画の
ご案内！次号広報誌から、
3つの新コーナーを掲載します！

尼崎総合医療センター内には、●●●センター、○○○チーム、XXX委員会と名付けられた部署やグループが多く存在します。

次号の「あまが咲だより」からは、今までの『診療科紹介』および『部門紹介』に代わり、下記の新コーナーを設け、当センターをご紹介したいと思います。

【センターへのご案内】

診療機能・役割を統合的に集中させるために、複数の診療科や部門の枠を超えて一つにまとめたセンターをご紹介します。

【医療チームのご紹介】－みんなで支えるチーム医療－

患者さんに安心・安全な医療の提供を目指し、多職種協働にて活動する医療チームをご案内します。

【委員会・部会めぐり】－豊かな医療を育むための協議－

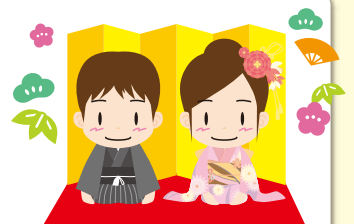
適切な病院の任務と運営および安全な医療提供を行うために、院内では多職種で構成された委員会(部会)があります。どんなことが協議されているのか、ご興味ありませんか？



編集後記

明けましておめでとうございます。去年はみなさんにとってどんな一年だったでしょうか。個人的には、身内の出産と癌治療→緩和ケア、と対照的な場面に立ち会い、患者さん側の立場でも医療や人の一生について考えさせられる良い機会となりました。かけがえのない健康が脅かされるとき、本当に頼りになる医療を提供すべく、私たちはベストを尽くしてまいります。本年も当センターと「あまが咲だより」をよろしくお願いいたします。

(N.H.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索